

「ふくしまに来て、見て、
感じるスタディツアー」
11月11日～13日

Eコース・相双エリア
発表



目次 自己紹介

1. 今回のツアーの感想
2. 各班の提案発表
3. 情報発信
4. スタディツアーを通じて



自己紹介

Eコース リーダー

瀬戸祐樹

Eコース サブリーダー

長谷川明穂

今回私たちが訪れた場所



- 檜葉町・・・Jヴィレッジ（西氏）、語り部ならはみらい（高原氏）
- 浪江町・・・NPO法人Jin、請戸地区、浪江駅、仮設商業共同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」
- いわき・・・いわき湯本温泉「吹きの湯旅館」
- 南相馬市・・・南相馬ソーラーアグリパーク、(株) 菊池製作所南相馬工場、セデッテかしま
- 相馬市・・・ホテルみなとや（松川浦復興チャレンジグルメ）、相馬市伝承鎮魂祈念館語り部（五十嵐氏）、「ふくしま記憶と未来体験アプリ (AR)」県情報政策課
- 二本松市・・・岳温泉「櫟平ホテル」
- 郡山市・・・福島県農業総合センター、（福豆屋「おもてなし女子駅弁」）



1. 今回のツアーの感想

福島の人々の
思い、強さ

新エネルギーの
発展

障害を乗り越え
た安全な食材



首都圏学生代表
植田景斗さん

県内学生代表
鈴木絢子さん

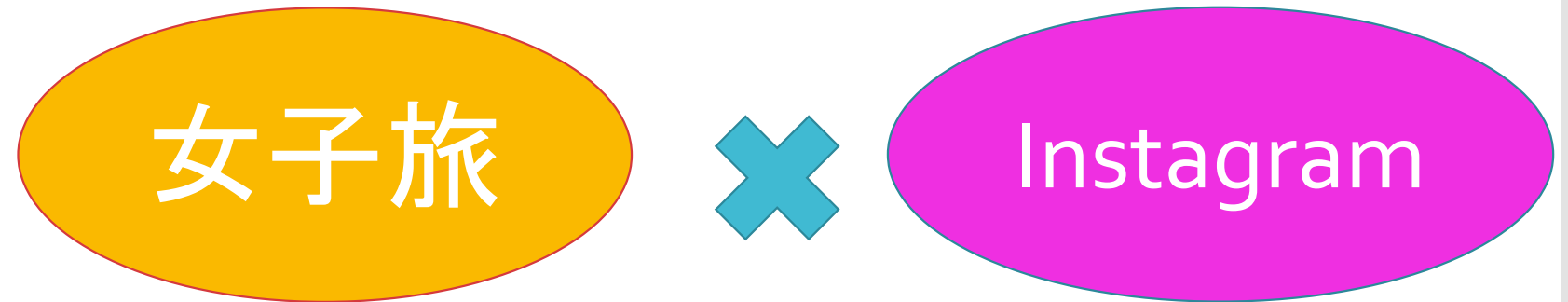
2. 各班の提案発表

1班



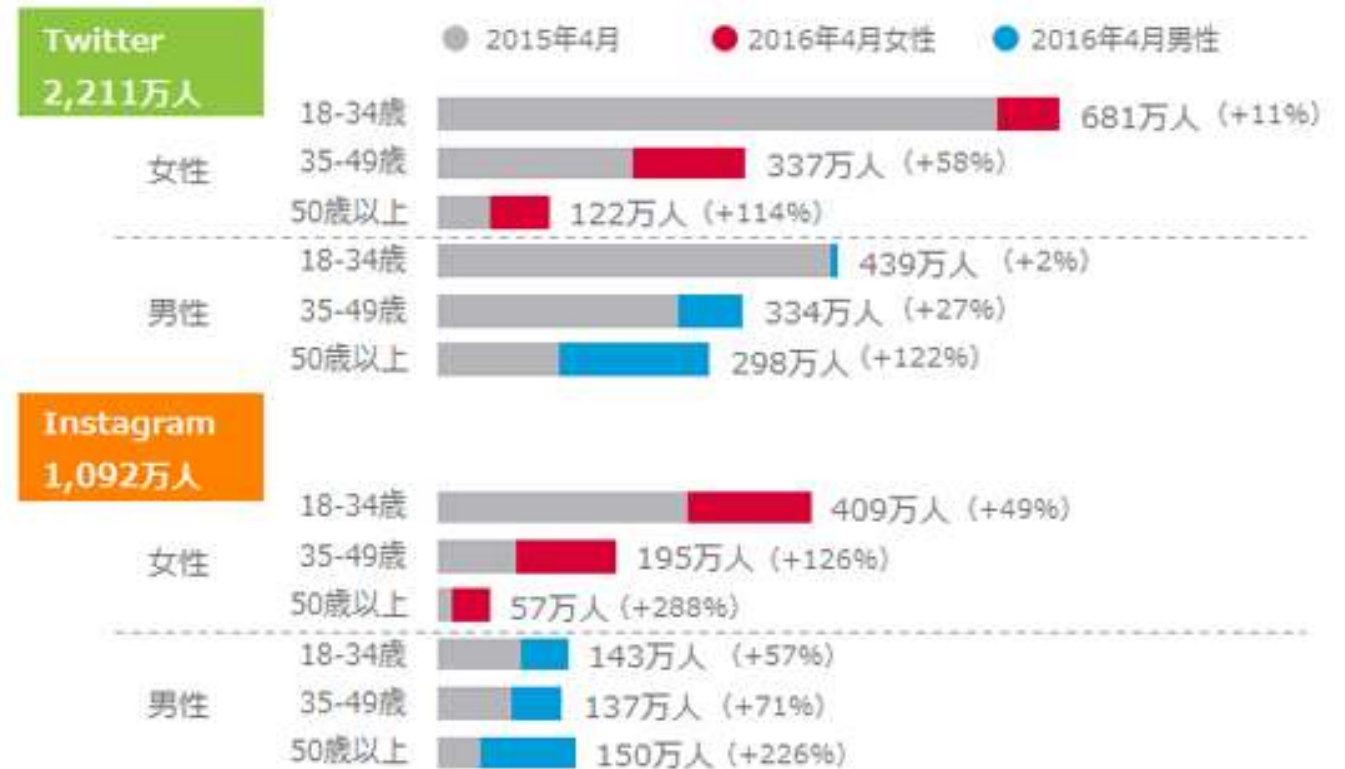
10代半から20代の女性をターゲットにしたSNSを用いた情報発信

1 班の提案



Instagramの強み

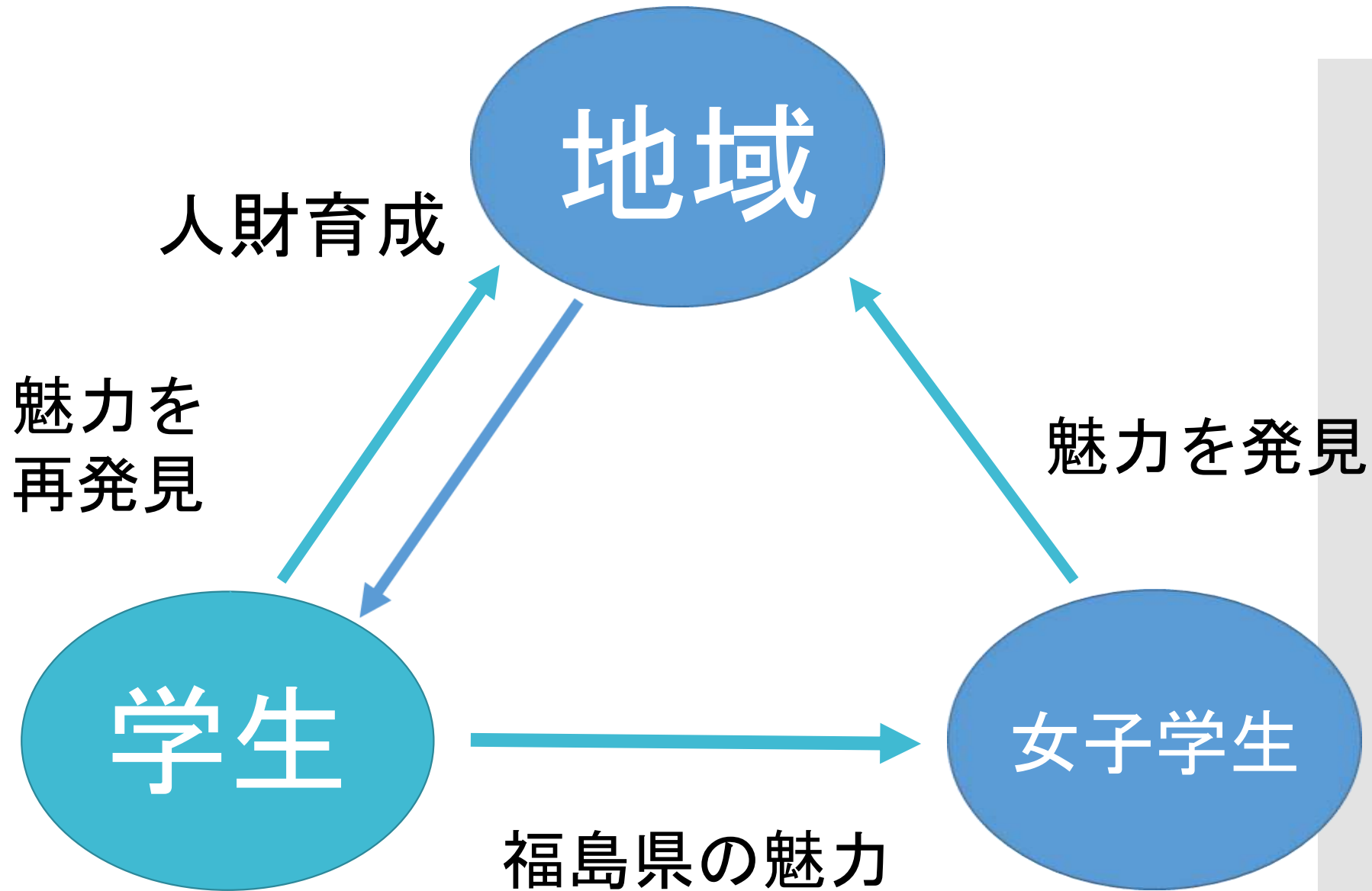
- 1. ヴィジュアルに訴える
- 2. 女子利用比率の高さ
- 3. 影響力



Source : Nielsen Mobile NetView アプリからの利用

※かっこ内は対昨年増加率

女子旅
× insta



2班



友情が生む復興

概要

WHAT : 福島の魅力

WHOM : 東京の学生に

WHERE : お互いの場(東京・福島)で

HOW : “交換教育旅行”を通して

福島の評判被害を払拭する！

交換教育旅行
とは？



```
graph TD; A[福島の学生が東京へ！] --> B[東京の学生と観光！]; B --> C[福島の魅力を伝える(in東京)]; C --> D[東京の学生が福島へ！]; D --> A;
```

福島の学生
が東京へ！

東京の学生と
観光！

福島の学生と
観光！

東京の学生が
福島へ！

福島の魅力を
伝える(in東京)

福島に来て、見て、感じてもらう！！

福島の学生
が東京へ！

福島の学生と
観光！

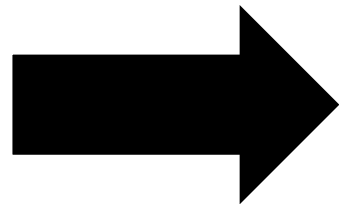
東京の学生と
観光！

東京の学生が
福島へ！

福島の魅力を
伝える(in東京)

なぜ交換教育
旅行??

- ・ 学生が**大勢**来る
- ・ 毎年**安定的**に来る
- ・ **口コミ**で広がる
(学生→親、友達)



安定性・伝播性の面で効果大!

交換教育の
ポイント

独自性：福島の学生による魅力の
発信

学生らしさ：学生同士の交流

実現性：学生によるサポート
（運営のお手伝い、
学校同士の橋渡し）

持続性：修学旅行

福島に来て、**見て、感じてもらう！！**

福島の学生
が東京へ！

福島の学生と
観光！

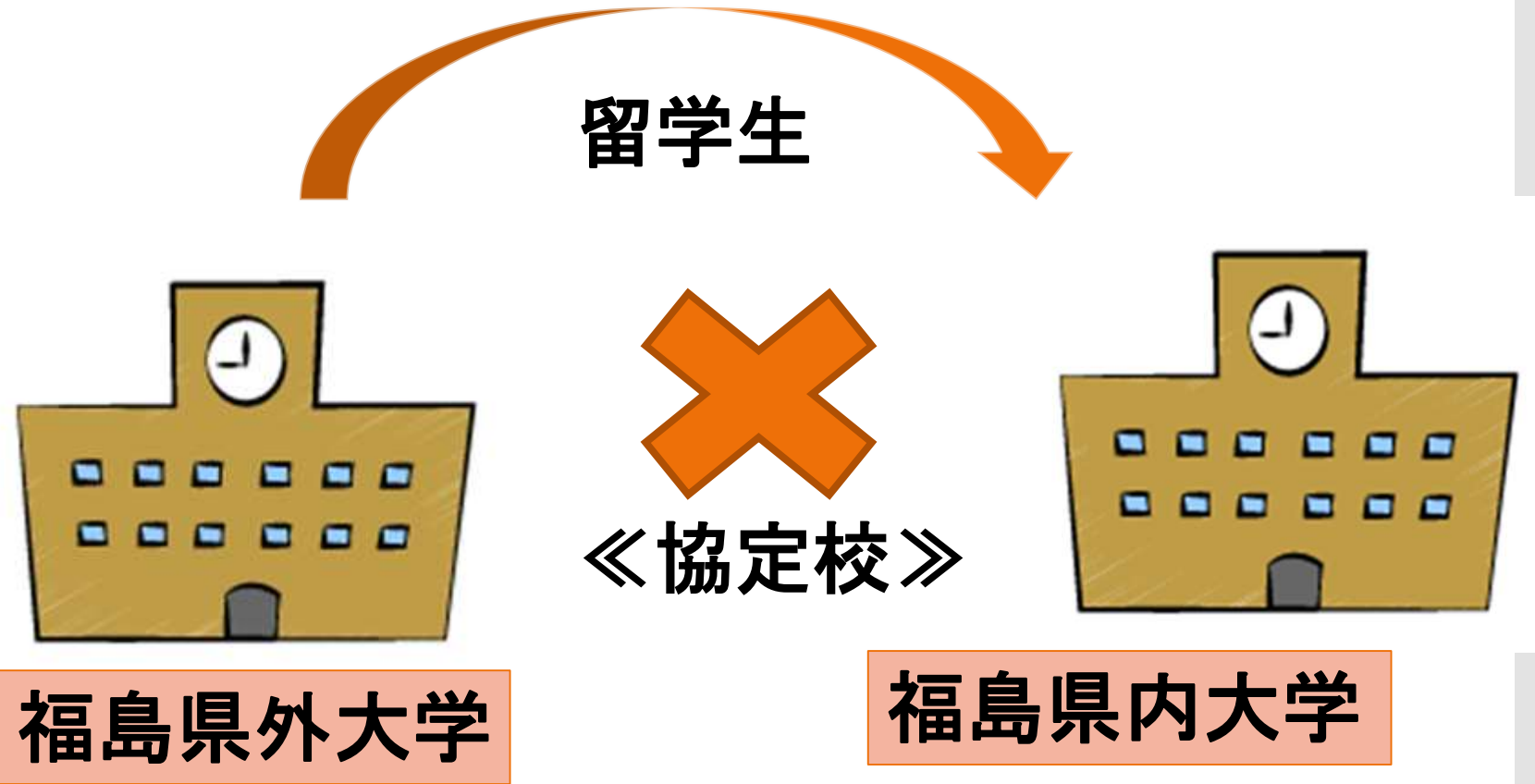
東京の学生と
観光！

福島の風評被害払拭！！

3班



Studying
Holiday



期間 : 一か月程度

ミッション : 福島の現状、魅力を毎日SNSへup + 週に一回webへの投稿



復興支援等の
カリキュラム

地域に携わる
サークル

ホームステイ

学生が見たり、体験した福島を発信することにより
いつまでも被災地ではない福島を多くの人に知ってもらおう。

4班



Kitekero

学生の団体（部活、サークル、ゼミ、プライベートなど）に福島での観光、合宿を斡旋するSNSのアカウントを運営する



Kitekero

メリットと デメリット

・メリット

- ・ 広範囲で拡散が可能
- ・ 動画や画像などのツールが使える
- ・ 県の運営しているアプリとの連携が可能

・デメリット

- ・ 情報が埋もれる
- ・ 情報量に限界がある
- ・ アカウントの信用性が必要

デメリットの 解決策

ダイレクトメッセージ（DM）の活用 と自治体のバックアップ

- ・ SNS上の大量の情報に埋もれることと情報量の限界という2つのデメリットはDMの活用で解決できる。
- ・ アカウムの信用性の向上の問題は自治体公認のアカウントとして運営していくことで解消できる。

注) DMとはSNS上で相手と直接やり取りができる、個別性の高いショートメールのような機能。

3.スタディツアー 後の情報発信

SNSで発信

- Facebook、instagram、Twitter、LINE

大学内で発信

- ゼミ内、シンいわき

その他

- ブログ、バイト先

SNSでの発信



Chië @VeryBerry1229 · 5日

今までは被災地に行くと震災当時を思い出して気持ちが重くなっていましたが、今回は力強く前へ進む被災地の姿を見て元気をもらいました。

首都圏から来た学生が福島の後について頭を抱えて一緒に考えてくれて、嬉しかったです。ありがとう。素敵な出会いに感謝！

#ふくしま来て見て



ブログ開設、 そして発信

○福島県内学生 服部祥大さん

・・・福島の魅力、復興の状況についての発信のため、ブログを開設し、そのブログで情報を発信



→ ブログURL <http://tugumono.blog.fc2.com/>

シンいわき (サークル)

<現在>

- ・ ECC外語専門学校の方と8月のスタディツアーの半日実施
- ・ 日本学生観光連盟と震災について話し合い
- ・ オープンキャンパス、学祭内でシンいわきの活動をPR

Etc

<今後>

- ・ 地元いわきを留学生と日本人学生が共に学び、外部へ発信
- 県内や東北のことを他の地域に発信
- 今までになかった横、地域との繋がり

4.まとめ



日本



私たち

ふくしま

